

# 大牟田市立松原中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、社会の国際化、情報化、少子化、高齢化等の変化に対応できるよう、  
○自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

○学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動を主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

この2つを目標に、すべての教育活動で関わりやつながりを持たせ取り組んでいる。

また、本校のESDの時間で、次の3つの態度や能力を身につけさせていくことをねらいとしている。

- ①問題を解決する力
- ②主体的、創造的な学び方、考え方、態度
- ③自己の生き方を考える力、実践する力

この態度や能力を育てるために、「福祉」「地域探求」「進路」「生き方」をテーマに各学年で特徴のある取り組みを行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

1 学年 「福祉と進路・生き方」	2 学年 「地域探求と進路・生き方」	3 学年 「福祉と進路・生き方」
<p>「高齢者福祉体験」</p> <p>5 月</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>○介護体験学習の計画</p> <p>6 月</p> <p>○高齢者とふれあう準備</p> <p>○認知症の学習</p> <p>○福祉施設での介護体験</p> <p>10・11・12 月</p> <p>○高齢者疑似体験</p> <p>○アイマスク・車いす体験</p> <p>1 月</p> <p>○職業調べ・高校調べ</p>	<p>「地域文化探求活動」</p> <p>5 月</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>○大牟田の遺産学習 (GT)</p> <p>○事前準備活動</p> <p>6 月</p> <p>○事前準備活動</p> <p>○地域文化探求活動</p> <p>10、11 月</p> <p>○京都の伝統文化等の調査</p> <p>12 月</p> <p>○京都伝統文化等の探求活動</p> <p>○発表会</p>	<p>「職場体験・保育体験」</p> <p>5 月</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>○事業所調べ</p> <p>6 月</p> <p>○職場体験活動事前学習</p> <p>○職場体験活動</p> <p>10 月</p> <p>○幼児期の発達段階学習</p> <p>○保育実習事前学習</p> <p>11・12・1 月</p> <p>○保育実習</p> <p>○自分の進路について</p>

## 3 特徴的な活動事例

高齢者介護福祉体験 (1 年生)	
目 標	<p>○福祉施設での高齢者との交流や職員の方々からの指導を通して、思いやりのある接し方を学び、介護や福祉についての理解を深める。</p> <p>○絵本教室や高齢者疑似体験で学んだことを基に校内を点検し、校内の改修計画を立てることで、弱者の視点に立った街作りの視点を育てる。</p>
実 施	<p>①大牟田市の地域包括支援センターの方にGTとして講話をしていただき、認知症の学習および、老人介護のあり方・接し方・注意点を学んだ。</p>

<p>実践の展開</p>	<p>②高齢者介護福祉施設との事前打ち合わせを行い、2日間の介護福祉体験を行った。</p> <p>③地域包括センターの方と認知症ライフサポート研究会の方に絵本教室を実施していただき、認知症の方の気持ちを思いやることを学んだ。</p> <p>④さらに学習を深めるため、大牟田市の高齢者の現状を学習し、高齢者疑似体験やアイマスク体験、車いす体験を行った。</p> <p>⑤校内を点検し、弱者の視点に立った松原中学校改修計画を作成した。</p>
<p>生徒の感想</p>	<p>○福祉施設体験は、1日目よりも2日目のほうがたくさん話せたので、とても良かったです。みんな元気なお年寄りばかりでとても楽しかったです。</p> <p>○アイマスクのサポートは状況を説明するのが難しかった。階段をどう説明するのか考えた。体験する時は、どこにどんな障害物があるか分からず不安だった。</p> <p>○認知症は何でも忘れてしまうのではなくて、人への礼儀とか感謝、昔からやっていたことは忘れない。突然変なことをしだしても、昔していたことをしてるだけで、それを分かってあげられるようになりたい。</p>

#### 4 本年度の成果と課題

##### ○成果

- 福祉施設体験では、プレゼントを作ったりゲームを考える等、事前学習から熱心に取り組むことができた。その姿勢が、各施設で、戸惑いながらも自分から高齢者の方に話しかけていこうとする態度に繋がり、生徒達は充実感を得ることができたようである。
- また、高齢者疑似体験や車いす体験で学んだことを生かし、校内点検では積極的に危険箇所を見つけ出していた。その後、班で活発な意見交換を行い、協力して改修計画をまとめることができた。



〔福祉施設体験のようす〕



〔車いす体験のようす〕



〔松原中改修計画〕

##### ○課題

- 6月、11月、12月と3回GTを招いての学習を行ったが、毎回、「認知症とは？」から始まり、学習内容が重なる部分があった。福祉学習の全体計画を改善し、生徒達がどの段階で何を学んでいるのかを、GTや福祉施設の方々ときちんと共有しながら学習を進めることが必要である。